

## 社 報



## 足元ガッチ



パイプサポート自立スタンド、「足元ガッチリ君:足元ガッチ」を海外生産(ベトナム)しました。サポートスタンドは既成販売品もありますが、重量が重く(9.3kg)価格も高いので、自社にて治具を製作しました。今回の製品は1組4個で3.2kgと非常に軽く出来あがりしました。是非とも現場でご利用下さい。



当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 景気好調も今しばらくか……

新年あけましておめでとうございます。ではどうするかと言えば、「うねり」を今年に暦の関係で、年末年始休暇を長く取れていますので、皆様もゆっくりと休養できたことと思います。本年もよろしくお願いたします。

さて今年の経済状況ですが、昨年は、アベノミクス効果などもあり、株価も年末には16,000円を超えてくるなど、庶民の実感からはピンと来ませんが、好景気であったようです。

また消費税の駆け込み需要で、マンション業界も多忙であったようですし、東北の復興需要も建設需要を押し上げてきました。

一方、建設現場で働く職人さんは、高齢化が進み、減少の傾向を見せているものの、若者の入職者は少なく、人手不足が慢性化しつつあります。

数年前のリーマン不況と言われた頃からは様相が一変いたしました。

いつも言っていることですが、経済は大きな「うねり」のような波で、気づかぬうちに、大きく上げたり、下げたり、我々はその「うねり」の中で、泳がされているようなもので、この「うねり」をコントロールできないのです。

見ながら、その次を予測して、行動を考える必要があるのです。

大きな上げの後には、必ず大きな下げがあるのです。これは非常に大事なことで忘れてはいけません。世界経済も、日本経済も、当社の景況感も、タイミングは当然ズレても、必ず上げ下げがあります。

自由経済社会は、この上げ下げで、バランスを取ることを経済の原則としています。もの事は、この経済原則から外れて動くことはありません。売り物少なく買い手多ければ、物の値段は上がります。逆に、売り物多く買い手少なければ物の値段は下がります。これが自由経済主義の原則です。揺らぐことはありません。

現在の経済状況は、「うねり」の、どの辺りなのでしょう。これは考える人により先差万別で、まだ上昇するという人もいれば、そろそろ下降に転じる頃であると考え人もいます。そこで大切なことは、楽観的に見るよりも、厳しく見るのが、企業の存続に通じると言うことです。

## 横バタをハシゴ代わりに昇降して墜落

ロジスティックパーク堺の現場で、墜落・休業災害が発生しました。地中梁上から自らの作業持ち場へ移動すべく、横バタをハシゴ代わりに降りようとして、下にある立馬へ横移動しようとした時に、バランスを崩して墜落した。隣の柵には昇降ハシゴ(安全ブロック付)が設置されていた。

所属:(株)フォービル - (有)岡山組 - (株)タカシマ - 田中組  
職種:型枠工  
経験:30年  
臨時応援の大工さんで、現場のルールも熟知していなかったこともあったと思われます。  
今月もご安全に!

## 2013年 安全成績

■現場災害 H25.1.1-H25.12.31	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■交通災害 H25.1.1-H25.12.31	
人身災害	----- 1
物損災害	----- 1
合計	----- 2